



営農NEWS



レタスの菌核病やオオタバコガなど病害虫の防除を徹底しましょう

レタス栽培では、9月上旬の気温が平年より低く降水量も多く、日照時間も少なく経過しました。その後、9月中旬には台風14号が、9月末には台風16号が太平洋沖を通過するルートとなり、本県では強風や降雨の日が数日続き、病害の発生しやすい圃場環境になったと思われます。

病害虫発生予報10月号（県病害虫防除所）によりますと、9月下旬現在、レタス菌核病の発病株率（本年2.2%、平年0.1%）および発生地点率（本年27%、平年3%）とも平年より高い状況となっています。また、オオタバコガの寄生株率は平年よりやや高い状況です。

菌核病は、例年、早生の作型では10月上旬頃から、中生・晩生の作型では10月下旬頃の結球期以降から発生が多くなる傾向があります。さらに、収穫期近くになって降雨が多くなると、腐敗病などが急速に発病進展します。これら病害には、早めの予防が重要で、気象予報を考慮しながら薬剤の予防散布に努めてください。

害虫ではオオタバコガの他、ハスモンヨトウやシロイチモジヨトウなど結球内に食入するものは、潜入後の薬剤防除が困難になるため、結球始期前後の薬剤防除を徹底してください。

【病害虫防除のポイント】

- 1 多湿な圃場環境は、各種病害の発生を助長しますので、排水対策など圃場環境の改善に努めてください。
- 2 薬剤散布にあたっては、株元や下葉、葉裏にも薬剤が十分かかるよう丁寧に散布することが重要です。
- 3 防除薬剤は、下記を参考にレタスおよび非結球レタスの収穫前日数に十分注意してください。
- 4 被害株は周辺株や次作の伝染源となるため、早急に圃場外に持ち出し、土中深く埋めるなど適切に処分してください。

表1 レタスまたは非結球レタス 菌核病の主な防除薬剤 (令和3年10月12日現在)

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
パレード20フロアブル	○	○	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	7
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	2,000~3,000倍	収穫3日前まで / 3回以内 収穫14日前まで / 3回以内	11
スミレックス水和剤	○		1,000~2,000倍	収穫7日前まで / 5回以内	2

注) 表1および2の分類欄には、FRACコード（コードが2つは混合剤）を記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 レタス腐敗病の主な防除薬剤 (令和3年10月12日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
スターナ水和剤	2,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	31
カセット水和剤	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	24と31
カスミンボルドー	1,000倍	収穫7日前まで / 4回以内	24とM1
バリダシン液剤5	800倍	収穫前日まで / 3回以内	U18
ヨネポン水和剤	500倍	収穫14日前まで / 4回以内	M1

表3 レタスまたは非結球レタス オオタバコガおよびハスモンヨトウの主な防除薬剤 (令和3年10月12日現在)

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
グレースシア乳剤	○	○	2,000~3,000倍	収穫3日前まで / 2回以内	30
フェニックス顆粒水和剤	○	○	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	28
プレオフロアブル	○	リーフレタスのみ	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	un
トルネードエースDF	○	○	2,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	22A
ディアナSC	○	○	2,500~5,000倍	収穫前日まで / 2回以内	5
アフーム乳剤	○	○	1,000~2,000倍	収穫3日前まで / 3回以内	6
コテツフロアブル	○		2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	13

注) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



農機営農支援部 営農支援課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040